

平成 27 年度 都市計画マスタープラン改定専門部会 第 3 回資料

(市民アンケート調査について)

- ・計画策定に際して市民の意向を把握し、計画内容に反映させることを目的とするが、前回のマスタープランのアンケート（H17 年実施）と同一の設問を設けることで、施策の満足度の変化等を把握し、マスタープランやまちづくりの効果を把握する。
- ・アンケート回答の負担を減らすよう、設問量を少なくするため、既存のアンケート調査と同様な設問については、本アンケートでは質問を省き、既存調査結果を活用する。（毎年市で実施されている「まちづくりアンケート」や、本年 5 月に実施された長野市人口分析基礎調査アンケート等の結果等）
- ・立地適正化計画を策定するうえで参考となる、都市機能（とくに日常生活支援機能）に関連する交通手段の利用状況（手段、移動距離（時間）、頻度）について設問を設ける。

【実施計画概要】

- ・実施予定時期：平成 27 年 12 月下旬～平成 28 年 1 月下旬
- ・対象区域：長野市全域
- ・サンプル数：標本抽出 6000 通（目標回収率 40%）
- ・回収方法：電子回答又は郵送（回答者による選択）

【アンケート項目】（アンダーラインは H17 のアンケートにはない設問）

I. 回答者の属性

- ・性別、年齢、職業
- ・居住地区
- ・世帯構成

II. まちづくりに関する設問

- ・長野市の魅力、愛着のある場所、定住意向、居住年については、H27 人口分析基礎調査アンケート結果を活用することとし、設問は設けない。

●分野別

- ・人口減少、高齢化について（←H27 人口分析基礎調査アンケート結果活用）
 - ・少子高齢化・人口減少社会に対し、重点的にまちづくりで行なうべきこと
- ・コンパクトシティについて
 - ・車利用の進展や市街地の郊外化に対し、重点的にまちづくりで行うべきこと
- ・景観
 - ・景観等の都市の「質」の向上に対し、重点的にまちづくりで行なうべきこと
- ・環境、自然
 - ・各種の環境との共生に対し、重点的にまちづくりで行なうべきこと
- ・安全、安心
 - ・安全・安心のまちづくりに対し、重点的にまちづくりで行なうべきこと
- ・産業振興（地域産業の振興）

- ・商工業などの産業振興に対し、重点的にまちづくりで行なうべきこと

(H17 で聞いた、土地利用〔今後のまちづくりを進める上での土地利用の方針について〕は内容が専門的すぎることで、上記の部門別と重複するところもあるので、今回は聞かない)

Ⅲ.お住まいの地域のまちづくりについて

●満足度・重要度

- ・項目は前回と同一を基本とするが、都市づくりに直接関連が薄い下記の項目については、回答の負担を軽減する観点から聞かないこととする。

〔H17 アンケートの項目のうち、今回は除外するもの〕

15. インターネット、ケーブルテレビ,などの高度情報機器の整備状況や携帯電話などの情報通信状況について
- 21 公民館など地域施設の整備状況について
- 22 身近な文化施設やスポーツ・リクリエーション施設の整備状況について
- 23 身近な福祉施設の整備状況について
- 28 地域のお祭りや行事などの活動について
- 29 自治会活動や文化・教養などの活動について

●日常生活に必要な施設の利用状況 (立地適正化の誘導都市機能に関する設問)

- ・拠点等の徒歩圏に立地誘導すべき都市機能について、地域特性等を踏まえて選定する参考とするため、主要な都市機能(目的)と利用頻度、移動手段、移動時間(移動距離)について聞く。

Ⅳ.まちづくりへの参画意向

- ・まちづくりへの参画の意向を把握するため、下記の設問を設ける。
 - ・都市計画マスタープランの認知度(知っているか)
 - ・地域まちづくりへの参画意向

Ⅴ. その他

- ・自由記入欄を設ける

→前回のアンケートでは自由記入欄を設けているが、市のまちづくりアンケートには自由記入欄はないので、同様に設けないことも考えられる。(まちづくりに関連の薄い内容が書かれる恐れや、具体的な問い合わせ等が書かれた場合、無記名なので市からの問い合わせなど対応ができない恐れがあるなど)

【アンケートの項目などへのご意見】

- ・11月末までをめどに、事務局へ直接お願いします。

長野市都市計画課

TEL 026-224-5050

(担当 飯島・宮下・小林)

FAX 026-224-5111

E-mail tosikei@city.nagano.lg.jp